

第三の医療
在宅医療を
考える



東郷清児とみんなのWa

しんぶん

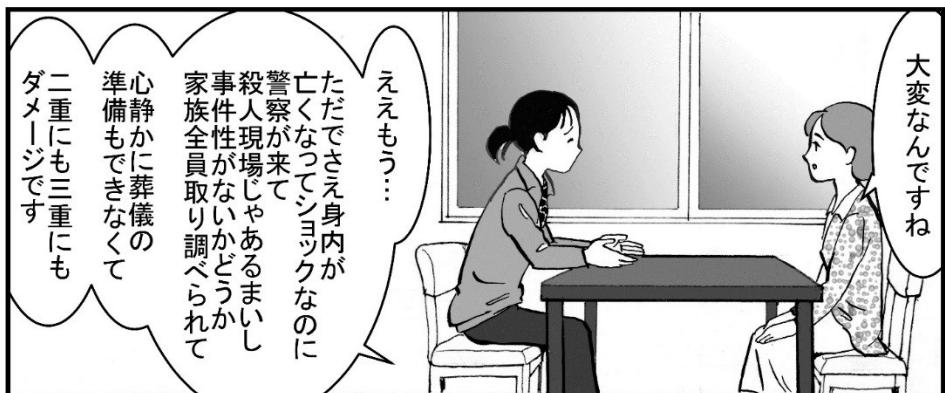
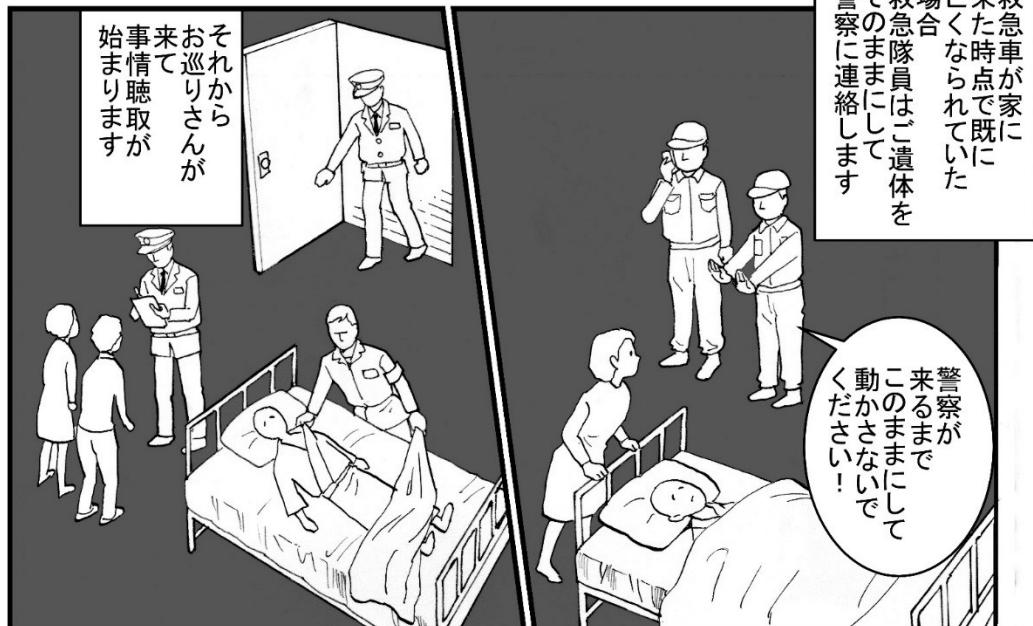
まんが版 vor ②

—どんな時も 幸せな人生を 生きるために—

発行 医療法人医輝会 東郷医院
三鷹市下連雀3-34-13 5F ☎ 0422-70-3050

A子です
家末期がんで入院中の母を
迎えることになり
ケアマネと何度か相談して
いる時のことです





こでも実は
こうならないための
対策がたん
です！

すみません
もう少し詳しく

すみません

えっ

私が前もって
していったら
よかつたら
私のミスです！

わくわく
申し訳ない

そのまま静かに
お別れたん
です

そしたら
その先生が
対応してくれる

普段から在宅医療が
入つていれば

このような時に
救急車ではなく
その在宅医を呼べば
良かつたんです

来必休先訪問でも
や夜間でも
必要なとき必ず
来てもらえるか
ちゃんと約束して
おく必要はあるん
ですけどね

はあ、
そうなんですか

お前がとても大切で、お母さんのお子様の最期を希望される場合には、医師と話し合つてください。かかりつけの医師がいつでも対応してくれるのです。

今回のことで
私もよくわかりました

そうなると、救急車を呼びます。救急の時に救急車はまくつなづけます。

かかりつけの医師が24時間365日いつでも対応してくれるのです。



調べておきますね
わかりました

なるほど
うちも主治医を非決めて
おきたいと思いたします
うな在宅の主な治療法を
よろしくお願いしますので

というわけで、今回は救急車のお話で終わってしまいましたが、ご本人が延命を望まれてない場合も、救急車を呼ぶと隊員は延命するのが仕事ですから、ご本人の希望と違うこともあります。

普段から、どう生きていくか、どこでどのような最期を迎えるのかを考え、周りの人と話し合っておくことが大事です。

ではまた 次号で。

